

令和元年度における四條畷市市民総合センター及び四條畷市立公民館 の管理運営に対する評価票

所 管 課：教育委員会 公民館

評価対象：平成 31 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日

評価委員会開催日：令和 2 年 9 月 17 日

1 指定管理者

指定管理者	四條畷市ラーニングcommons
指定期間	平成 31 年 4 月 1 日～令和 6 年 3 月 31 日（5 年間）
施設概要	収容 713 名の市民ホールを中心とした市立図書館・市立公民館を含めた総合施設で、市民の福祉増進と文化教養に寄与するために 38 年前に設置され、市民の文化意識の向上と地域文化を図る活動の拠点としてまた地域住民にとって最も身近な学習拠点として利用されている。
指定管理料	41,420,000 円（令和元年度）

2 管理運営の内容

項 目	令和元年度の状況
運営状況	<p>（1）平等利用の確保</p> <p>①利用者のために自主的に受付時間を 21 時まで延長した。また、市主催事業等においては、担当課と綿密な打ち合わせを実施し、事業に不要な施設を市民が利用できるよう調整した。</p> <p>②市民ホールの使用状況及び公民館空室状況を市民が閲覧できる場所に設置し、だれでも気軽に空室が確認できるようにした。</p> <p>（2）自主事業の展開</p> <p>①年 3 回の映画鑑賞会を行い、市内で映画鑑賞ができる機会を提供した。</p> <p>②乳幼児も参加できる「親子で遊ぼう！展示ホール開放デー」を実施し、親子のふれあいを促進した。</p> <p>③イクメン写真展やパープル&オレンジリボン啓発事業等を実施し、男女共同参画や暴力、児童虐待防止等の人権啓発に取り組んだ。</p> <p>④「なわてダンスドリルの祭典」、「昭和の歌コンサート」、「よしもお笑いライブ in 四條畷」等の自主事業を計 33 事業開催した。</p> <p>⑤様々な市主催事業について、人的、物的支援を行ったほか、公民館利用団体と共催による「懐かしのアナログレコード再生」事業や四條畷市文化協会との共催事業を企画、実施した。</p> <p>（3）施設の情報提供</p> <p>①指定管理が設置したホームページにて市民ホールの空き状況や、自主事業についてきめ細かに掲載した。また、エントランスロビーのテレビモニターで自主事業や市の事業の PR 動画を放映したほか、デジタルサイネージの新設や館内掲示板の増設等を通し、現在、どのような事業が行われているか容易にわかるように掲示を工夫した。</p> <p>（4）安全確保対策</p> <p>①定期巡回時の点検や適切な保守点検の実施、マニュアル等の整備を行った。</p>

維持管理状況	<p>(5) 保守点検</p> <p>①年間整備計画を策定し、日常の保守管理及び法令等で定められた定期点検を実施、不具合箇所の調査を行い、修繕計画を市担当課に提出した。補修、修繕が必要な箇所が発生した場合、専任の技術者が頻繁に対応し、適切かつ安価な修繕を心がけた。</p> <p>②市担当課と協議し、コミュニティスペース内の工事や新型コロナウイルス感染症対策としての臨時休館期間を活用した施設整備を実施し、老朽化が進む建物や機器の整備、延命に努め、利用者が安全・安心して施設を利用できるよう修繕等を行った。</p> <p>(6) 清掃業務</p> <p>①日常清掃・定期清掃のほか、1日7回の定期巡回時にも良好な状態を保つように意識し注意を払った。</p> <p>(7) 警備業務</p> <p>①1日7回の定期館内巡回や防犯マニュアルに従い職員に防犯の意識づけを行ったほか、防犯カメラの増設を実施した。</p> <p>(8) 環境への配慮</p> <p>①ホール使用時の空調運転を季節ごとに対応し電力削減に努めるとともに、館内照明のLED化により省エネ効果を生み出した。</p>
利用状況	<p>【2月29日から3月31日まで、新型コロナウイルス感染症対策のため臨時休館】</p> <p>前年度と比較し、市民ホールの利用状況は9件減少し126件の利用であった。利用の内訳は貸施設としての利用は76件、市関連の事業は50件であり、貸施設利用が3件の減少となった。また市外居住者の利用は8件増加し、15件であった。</p> <p>利用者数は31,760人で、昨年より2,995人減少している。</p> <p>曜日別に見ると土曜日、日曜日の利用割合は55.6%であり、土日の利用は全体の過半数を占めた。全体の利用率は40.1%と昨年から微増となった。</p> <p>公民館の利用状況は、午前、午後、夜間のそれぞれを1枠とすると前年より609枠減少し、4,503枠の利用があった。また、利用者数は、70,766人で、前年度より10,237人減少している。</p> <p>部屋別利用率は、展示ホール：64.4% 視聴覚室：58.3% 音楽室：55.0% 実習室：27.2% 料理室：18.2% 相談室：22.2%等でギャラリー一室を除き全体では38.5%の利用率であった。</p>
収支状況	<p>収支状況は、収入が61,264,697円、支出が60,289,453円で、決算額は975,244円の黒字決算となった。</p>

3 利用者へのアンケート調査

項 目	令和元年度の状況
調査の実施内容	<p>対象：施設利用者</p> <p>調査機関：令和2年2月1日から令和2年2月29日</p> <p>調査方法：施設利用者へ受付窓口で調査依頼、記入後、アンケートボックスへ投函してもらう形式で実施。</p> <p>回答件数：105件</p>
調査の結果	<p>施設利用の感想：「非常に使いやすい」、「まあまあ使いやすい」が82.9%</p> <p>職員の対応：「非常に満足している」、「満足している」が92.4%</p>
主な苦情・意見等	<ul style="list-style-type: none"> 夏冬と冷暖房の効き具合が良くないので教室使用前に点けてもらえたら嬉しいです。 市民ホール前のロビーを開放してください。 今のままで十分です。変わらず継続して欲しいです。 貸室の申し込みが2か月前では遅すぎるのでせめて3か月前にして欲しい。

	<ul style="list-style-type: none"> ・エアコンの効きが悪い時がある。 ・もう少し宣伝をして参加者が増えるような取り組みをして欲しい。 ・参加したい気持ちはあるが、中々日程が合わない。
--	---

4 施設の評価

管理運営の総合評価	○5 ●4 ○3 ○2 ○1
講 評	<p>施設の管理方針に掲げた事項について、多大な努力が見受けられる。特にハード面については、従前より非常勤の技術職員が専門家の見地から修繕内容の見極めを行い、良好な修繕等を行っていることや、修繕計画を担当部局に提出し協議を行っている点、省エネ・環境負荷の低減を実現している点のほか、臨時休館期間を活用した施設整備を積極的に実施している点など、大いに評価できる。</p> <p>一方、ソフト面についても、当初計画されていた事業のうち、新型コロナウイルス感染症対策として中止となった事業を除けば、おおむね実施されている。また、市の関係部署や市民活動団体との協働による事業の実施も継続・拡充して積極的に推進しており評価できる。加えて、窓口の受付時間延長や市主催事業における担当課の打ち合わせにより事業に不要な施設の開放を調整するなど、より多くの利用者に施設を利用してもらう取り組みも実施している。</p> <p>利用件数については、市民ホール・公民館ともに減少しているが、新型コロナウイルス感染症対策としての臨時休館に起因するものが主な理由であると考えられる。ただし、公民館については、臨時休館期間外も若干の減少傾向にあるため、引き続き市関係部署との連携のうえ、対策を検討されたい。</p> <p>予算収支では、今年度は975,224円の黒字となっている。施設の質を低下させない管理運営に精力的に取り組んでいることから、収支状況についても評価できる。</p> <p>以上の内容から「計画内容をやや上回るために努力している」と判断し、評価を「4」とする。</p>

(参考) 評価の基準

- 5 計画内容を上回る（非常に満足できる）結果
- 4 計画内容をやや上回る（満足できる）結果
- 3 計画内容どおりの（妥当と判断する）結果
- 2 計画内容をやや下回る（不満が残る）結果
- 1 計画内容を下回る（非常に不満が残る）結果